

発表③



「授業開始前後の受講生の意識変更
—文化体験を取り組んだ日本語授業を事例に—」

TS. ONON、E. ERDENETSETSEG
モンゴル国立大学

授業開始前後の受講生の意識変更
—文化体験を取り組んだ日本語授業を事例に—

Ts.オノン
E.エルデネツツェグ

2016年3月12日(土)

1

2010年
・「JF日本語教育スタンダード」
2012年
・『まるごと 日本のことばと文化』使用日本語コース開講

「JF日本語教育スタンダード」
「異文化理解能力」
『まるごと』→「ことば」+「文化」

2

まるごとコース

	A1	A2		A2/B1	B1
	入門	初級1	初級2	初中級	中級
教材	まるごと A1	まるごと A2	まるごと A2	まるごと A2/B1	まるごと B1
総合日本語	総合日本語1	総合日本語2	総合日本語3	総合日本語4	総合日本語5

3

コース開始時点での受講生のビリーフ

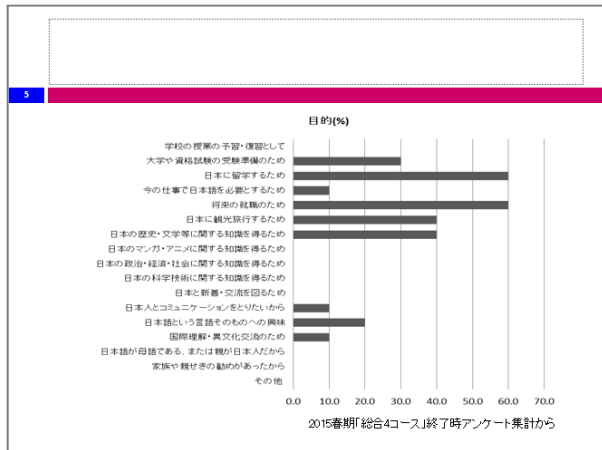
4

目的(%)

目的	割合 (%)
学校の授業の手習いとして	55
大学卒業試験の受験準備のため	55
日本に留学するため	85
今の仕事で日本語を必要とするため	55
将来の転職のため	55
日本に観光旅行するため	55
日本の歴史・文化等に関する知識を得るため	55
日本のマナー・慣習に関する知識を得るため	55
日本の政治・経済・社会に関する知識を得るため	55
日本の科学技術に関する知識を得るため	55
日本人とコミュニケーションをとりたいから	55
日本語という言語そのものへの興味	55
国際理解・異文化交流のため	55
日本語が得意である、または親が日本人だから	55
家族や親せきの勧めがあったから	55
その他	55

2015春期総合日本語全コース終了時アンケート集計から

4



5

6

まるごとコースで実施している日本文化体験

- 総合1 → 日本の遊び(達磨落とし、コマ回し)、浴衣着付け、盆踊り、忍者
- 総合2 → おにぎりと豚汁、けん玉
- 総合3 → 寄せ鍋、リメイク文化
- 総合4 → 畳文化、双六
- 総合5 → 焼きそば、すき焼き、風呂敷、絵手紙

6

7

実施動機

- ・ 日本文化体験を通して、受講生に日本や日本文化に興味を持ってもらう機会を提供し、学習意欲を高める。
- ・ 受講生のほとんどが年少者のため、日本文化を体験する機会がない、経済的な余裕がない。
- ・ センター以外の所で体験できる場所・環境が少ない。

7

8

特徴

- ・ 教科書の内容から取り入れている。
- ・ 言葉の感覚など、味わってみて初めて分かる物がある。

そば→大変でした、梅干→すっぱい

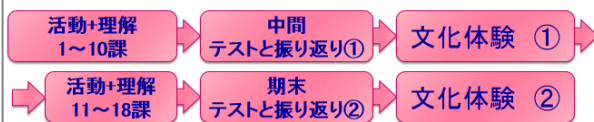


- ・ リピーターの学習者にとって、なるべく内容が重ならないように工夫している。

8

9

コース中の文化体験の流れ



文化体験:

- 1) 中間 → 日本食(焼きそば、すき焼き、ざるそば)
- 2) 終了日 → 伝統文化(茶道、風呂敷、絵手紙)



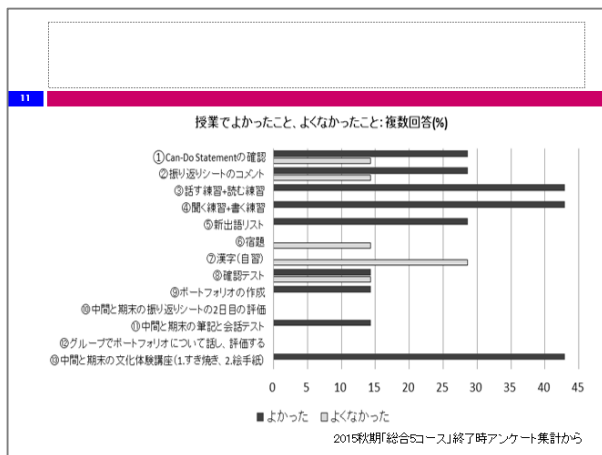
9

10

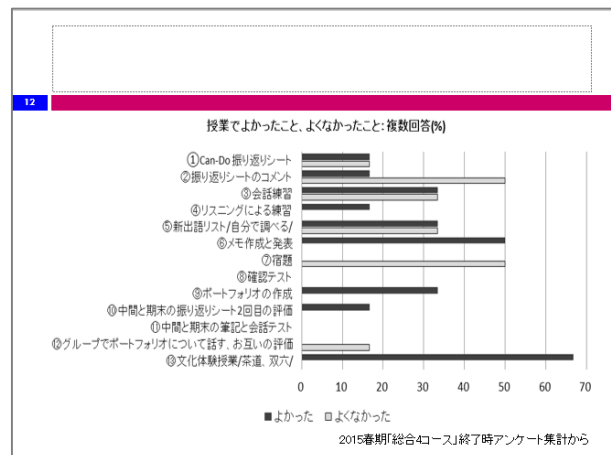
受講生の反応

- ・ 喜んでくれる。
- ・ 実施直後の「振り返りシート」に体験してよかったという声が多い。
- ・ ポートフォリオの文化体験記録として残る。
- ・ 体験した物が授業で出てくると自信を持って積極的に参加する。
- ・ おにぎり → 中に入れるものをモンゴル風にして、家族に作ってあげた。
- ・ 剣玉 → 買った。

10



11



12

13

受講生の授業に対する意識変更

興味のある日本文化:

- ・ 日本文化その中、料理、ゲームについてもっと知りたい
- ・ 日本の料理についてくわしく知りたい
- ・ 日本の食文化について知りたい
- ・ 日本祭りについて知りたい

感想・コメント:

- ・ 授業以外に日本文化について調べて、それをクラスメートに紹介するのが良かった。
- ・ 日本語だけでなく、日本文化を通して日本語を教えているのが気に入った。
- ・ 自分で日本事情を調べて授業以外にも勉強できと思う。
- ・ 日本文化を体験できるので、楽しい。

13

14

希望の文化体験

項目	数
1 日本料理・食文化・弁当	27
2 茶道	23
3 着物・浴衣・伝統衣装	17
4 マンガ	8
5 剣玉・将棋・伝統的な遊び	8
6 折り紙	8
7 習慣・日常生活・正月・尊敬文化・マナー	7
8 アニメ	5
9 生け花	4
10 祭り	4
11 大学・教育制度・学校生活	3
12 俳句	2
13 書道	2
14 歴史	2
15 花火	2
16 踊り	2
17 テクノロジー・ロボット	2

14

15

結果とまとめ

- ・ 日本語学習への意欲に繋がる。学習動機になる。
- ・ 日本や日本文化に対する知識経験が増える。
- ・ みんなで一緒に体験することによって、クラスの雰囲気良くなる。→欠席が減る。→受講継続に繋がる。
- ・ 文化体験の実践が受講生に自立学習意欲を促す。

15

16

結果とまとめ

- ・ 日本人講師と一緒に授業内容を考え、実施することで、モンゴル人講師の日本文化に対する知識・経験が広がる。

16

今後の課題

- ・ 教師指導中心の授業から受講生中心の授業へ
→ポスター発表、ポスターツアー
- ・ 教師の説明改善

17

ご清聴ありがとうございました。



18

日本文化体験（写真）

1

日本食（焼きそば、すき焼き、ざるそば）



2

日本食（焼きそば、すき焼き、ざるそば）



3

日本食（焼きそば、すき焼き、ざるそば）



4

日本食(焼きそば、すき焼き、ざるそば)



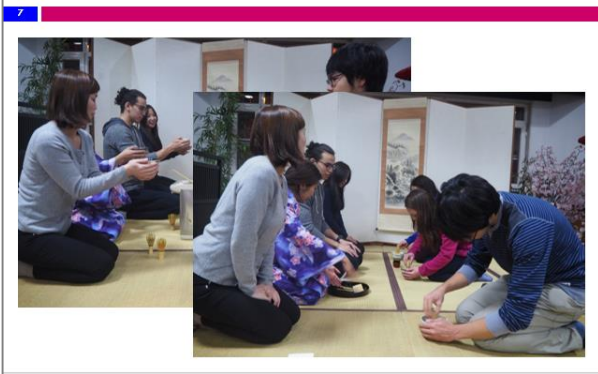
5

日本食(焼きそば、すき焼き、ざるそば)



6

伝統文化(茶道、風呂敷、絵手紙)



7

伝統文化(茶道、風呂敷、絵手紙)



8

伝統文化(茶道、風呂敷、絵手紙)



9

伝統文化(茶道、風呂敷、絵手紙)



10